

都立病院の充実を求める

連絡会ニュース

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
電話 03-6912-1871 FAX03-6912-1872 メール thei41822@blue.ocn.ne.jp 2020・1・23 第66号

連絡会と各守る会が都知事要請 梶原副知事は「着実に進める」と独法化の姿勢 崩さず。独法化やめよ！の世論を強めよう！



「都立病院の充実を求める連絡会」と墨東、大塚、広尾、松沢、多摩の各病院を守る会の代表ら30人は1月21日、小池都知事に「都立病院の地方独立行政法人化の撤回を求める要望書」を提出しました。要請には梶原洋副知事が対応しました。

要望は、『「新たな病院運営会改革ビジョン（素案）」を撤回し、地方独立行政法人化を行わないこと』、「厚生労働省が発表した、再編統合対象病院440のリストから都立神経病院を始め、都内の病院を除外することを国に求めること」などの内容です。

各病院守る会の代表が独法化はやめよと熱く訴え

要請内容を踏まえて、各病院を守る会の代表が都立病院の独法化を見直すよう求めました。多摩メディカルキャンパスをよくする会の佐々木さんは、「夫はALSを発症して25年生きてこれたのは神経病院のおかげ。夫は、神経病院は『命の故郷』と発信し続け、年6回の患者会で生きる自信を伝えた。今もALS患者の3割は呼吸器がつけられない。せめて都立のままであって欲しい」。同会の柳林子



事務局長は、「厚生労働省が424病院の再編統合を打ち出した。都知事が厚生労働省に神経病院は充実すべきと存続を迫って欲しい」。などそれぞれ熱く訴えました。

- ・着実に進めたい（副知事）
- ・都民の議論踏まえ独法化確定はやめるべき（氏家氏）

梶原洋副知事は、「ご意見はわかりました。知事に伝えたい」としながら「独立行政法人化を進めるビジョンを作成し、パブコメで意見を募集している。着実に進めたい」と述べ、厚生労働省が再編統合の病院名を公表した問題については「機械的に出した。全国も問題にしている。厚労省は参考に出したもの。済生会中央病院は外れ東京は9病院となった」「神経病院は難病医療センターとして運営し

ている。我々も意見をあげている」と述べました。

これに対して最後に、氏家祥夫連絡会代表委員は、『『着実に進める』と言われたが、メリット、デメリットを十分検討せず、都民に伝えずに知事がいきなり表明した。『ビジョン』を3月に確定しようとしているが、都民の議論を踏まえるべきで、（独法化を）固めることはやめよ』と強調しました。

《今後の行動予定》

●2月19日 都議会開会日11時 集会

●2月26日代表質問、27日、28日一般質問に合わせ11:30~12:30 集会

●場所は、いずれも都議会棟北側歩道

●独法化「ビジョン（素案）」へのパブコメ募集締め切りは2月7日。独法化反対の意見を集中しましょう！

●連絡会の「独法化反対署名」締め切りは1月30日連絡会必着です。